

第35回 洛和会ヘルスケア学会
2025年10月19日(日) 口演TQM発表

患者・利用者への 有効な情報発信

丸太町リハビリテーションクリニック
TQM委員会 青木 哲幹

問題点・背景

- 待合室の壁には、掲示板でない所にも掲示物を貼っており、適宜、壁やガラス窓等の掲示物は撤去するも、依然として掲示物が多く、患者・利用者にとって優先度の高い情報が埋もれてしまう状況



目標

- 情報過多な状況を改善
- 患者・家族にとって、
適切な情報発信への転換

改善策①

- ・無駄な掲示物を全て撤去。
- ・掲示板を追加。

適切な掲示場所を確保することで、壁に煩雑に貼られることを抑制。

- ・デジタルサイネージなど、動画による情報発信も検討中。

改善策②

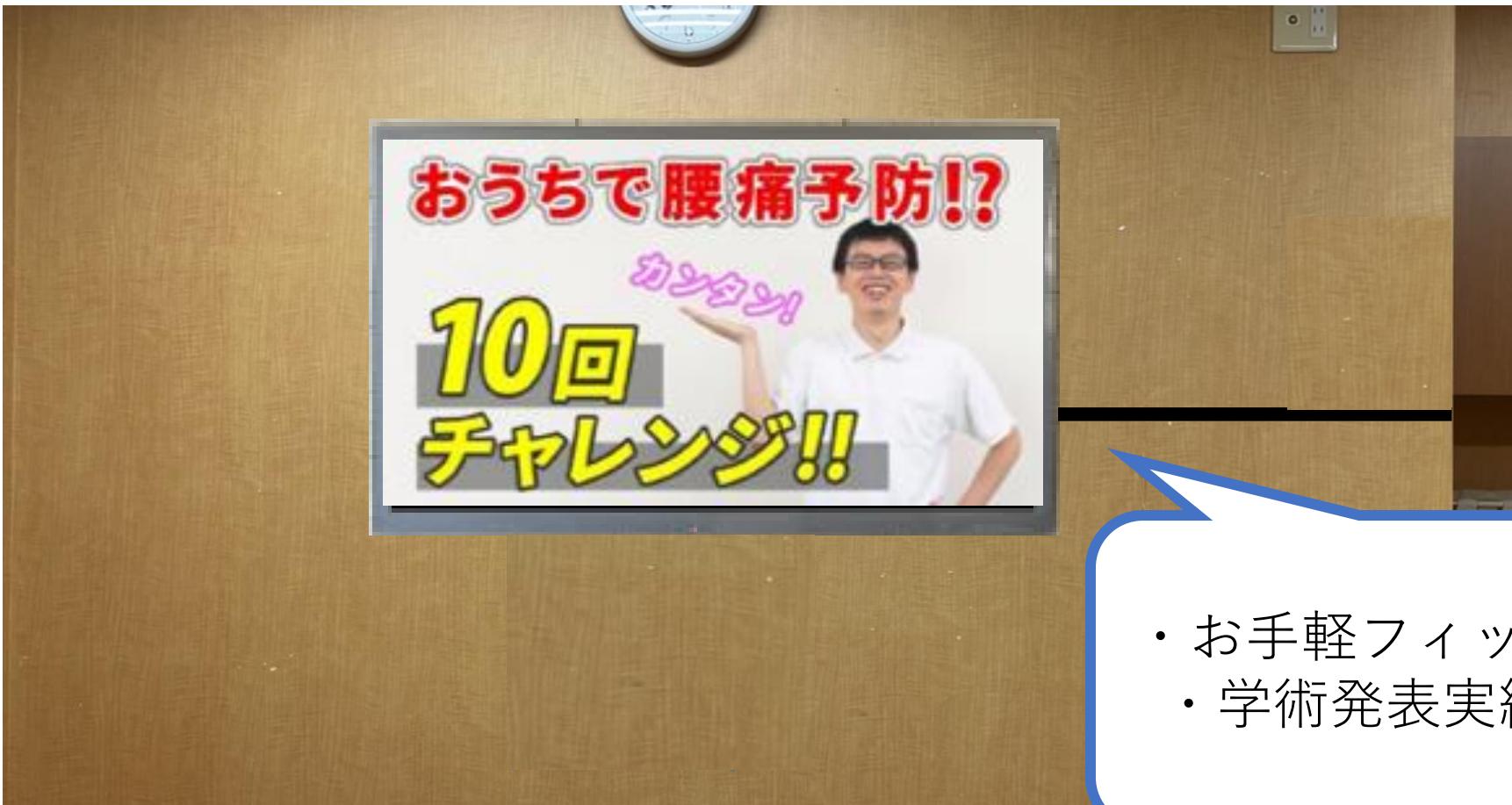
- 掲示板を追加。

適切な掲示場所を確保することで、壁に煩雑に貼られることを抑制。



改善策③

- ・デジタルサイネージなど、動画による情報発信も検討中。



- ・お手軽フィットネス
- ・学術発表実績など

結果・アウトカム

(まだ成果がでていない場合は、期待するアウトカム)

- いたるところにあった掲示物がなくなり、掲示板に発信すべき情報を集約することができた。
- 学術発表などの実績など、従来にない掲示物の手配にも着手できた。

2024年度 学術活動一覧



著書

著者	書名	発行年月日	出版社	表題	ページ	編著者、共著者など
松井 知之	予防教育の実践 のモデル事例 ⑥京都府京都市 の事例	2024.7.15	南江堂	理学療法士のための学校における運動器疾患・障害 予防教育マニュアル	177-179	森原 徹

当院スタッフの学術活動をご紹介

当院では、日々の臨床に加え、学術的な探究にも力を入れています。理学療法士・作業療法士をはじめとするスタッフが、全国学会や研究会での発表を通じて、リハビリ医療の発展に貢献しています。患者様により良い医療を提供するため、知識と技術の研鑽を続けています。ぜひ、私たちの取り組みをご覧ください。



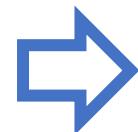
詳しく述べる
スマートフォンでQRコードを読み取ると、
発表実績の一覧ページをご覧いただけます。



考察・まとめ①

適切な情報量

適切な掲示方法



患者・家族に
適切に情報を伝達

発信する情報の内容を、従来の提供サービスの内容や注意事項に加え、健康情報や学術的な内容も含めることは、今後、患者・家族にとって有益な情報発信になるものと考える。

考察・まとめ②

情報発信の方法



当院スタッフの学術活動をご紹介

当院では、日々の臨床に加え、学術的な探究にも力を入れています。理学療法士・作業療法士をはじめとするスタッフが、全国学会や研究会での発表を通じて、リハビリ医療の発展に貢献しています。患者様により良い医療を提供するため、知識と技術の研鑽を続けています。ぜひ、私たちの取り組みをご覧ください。



バリエーションを増やすことで、
様々な患者・家族のニーズに合わせた情報発信が可能